

車に乗らない町

注：文中の数字は参考絵の番号と対応しています

車に乗らない町

僕の住む町は始良市加治木町といい、近年
 始良市の人口は増え続けています。しかし、
 それは車で移動する人数が増えているという
 ことです。だから、この町の人を車に乗らな
 いようにしたいのです。
 なせ、このように考えたのかというところ、僕
 が元々、移動しやすい町という企画で作文を
 書いていたからです。高低差が多いこの町を
 どう移動しやすくするかについて、くわしく書
 いていました。しかし、うまくまとまらず、
 難しい部分が多かった。なので、内容が少し似た
 車に乗らない町について書こうと思いました。
 歩く人を増やす目的では、元々の企画と少し
 通じる点があると思います。
 僕はこの町は歩く人が多くあるべきだと思
 います。車での移動では、楽だと感じてしま
 い、歩くという習慣が少し減るからです。また、
 歩いた方が健康的なので、人が多くなるこの

町こそ、健康な人が一人でも多い方がいい
 と思うからです。他に、二酸化炭素が増えに
 くなり、地球に優しいからです。だから、こ
 の町は車に乗る人が少なく、歩く人が多い町
 にしたいです。

歩く人を増やすとは、具体的に、近くのフ
 ニビニヤスーパー、飲食店、本屋など、近く
 の施設に行く際、車ではなく歩いて、または
 自転車を使って車を利用しない移動を考える
 ことです。普段から車を使って移動している
 と、少しの距離でも車で移動する習慣が付い
 てしまいます。その少しの移動を歩いて、自
 転車で移動したり、少しですが地球のために
 も、自分のためにもなるのではないでしょ
 うか。みんなが車で移動をしないように、了
 づりを作り、歩いた分を割引などのサービ
 スをしたりすることでも、と歩くことに抵抗
 がなくなります。

鹿児島は、九州の南にあるので、とても暑
 いです。その暑さによって、命が失われるこ

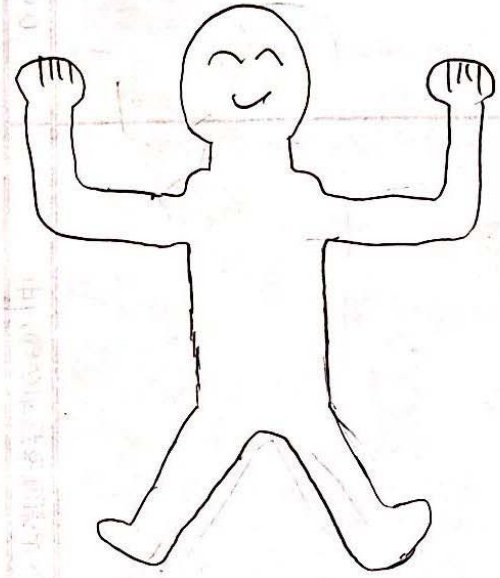
ともあります。その暑さに負けないように、
適度な運動が必要です。この企画で人の健康
を守る事ができるなら、暑くても少しでい
いので歩くのはいいと思います。

参考

本提案において、提案の趣旨が明確でなかったこ
とから、ウェルネスより、確認したところ、
「車に乗らない日」のような特別日を設けたりし
て、車をできるだけ乗らない町にしていきたいと
いうことでした。町の人の車の利用を減らしたい
とう意図はあるのですが、その方法まで企画を絞
り込めなかったようです。



歩いて



元気
に
生きる